

「天地が滅びゆくまで」

ダニエル書  
マタイによる福音書

第7章 13節～14節  
第5章 17節～20節

説教 岡村 恒牧師

「よく言うておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされるのである。」(18節)主イエスはこう宣言されました。

この日、主イエスが大勢の群衆を前にして宣言されたことは、『神の救いの約束が、一つ残らず完全に成し遂げられる』ということです。主イエスは、羊飼いのいない羊の群れのように、哀れな頼りない人々に向かって、はっきりと救いの成就を宣言されました。

この日集まっていた人たちは、ほとんどがユダヤ人だったと思われます。彼らは、自分たちは神から約束を与えられ、特別な祝福を受けて生きる者だと信じていました。モーセに与えられた十戒を土台に、当時、613の戒めをもっていたユダヤ人は、これらの戒めを守り、神に喜ばれて生きようと努力を続けてきた人々です。

ユダヤ人がかつて、エジプトで奴隷であった時、神はモーセを遣わして、ユダヤ人をエジプトから解放なさいました。そしてモーセに語りかけて言われました。「わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。」(出エジプト記 20章 2節)まず初めに神が、ユダヤ人を救い出して下さったのです。この宣言に続いて、10の戒めが与えられましたが、これらは神によって救われた者に、祝福された生き方を示すものでした。ユダヤ人は、この戒めを大切に、忠実に守ろうとして生きてきました。神が与えて下さった祝福の約束の中で生きることが、何よりも幸いなことだと固く信じていました。

当時、主イエスが、この律法を無視していると、律法学者やパリサイ人は考えました。これまで聞いたことがないような仕方神について語り、神の祝福について約束を語られたからです。しかし主イエスは、聖書全体を成就するためにきたと言われ、「律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされる」と宣言されました。律法とは、神と神の民とを固く結びつける約束です。主イエスは、神の民が、もう決して神から切り離されることがないように、と力強く宣言されたのです。

しかも主イエスは、「天地が滅び行く」時が来ることをはっきりと口にされました。数多くの預言者が既に語って来たように、やがて世界が終わりを迎える時、私たちは神の前に立たされ、神との関係が明らかにされます。そしてその日、

律法が完全に成就されるというのです。律法は、神を愛し、隣り人を愛しなさいと勧めています。神に愛されている者が、どのように神の愛を知り、神の愛に応え、神が愛しておられる隣り人を愛して生きたら良いかを明らかにしています。終わりの日、この神の愛が完全に示され、律法が私たちの身に完全に実現するのです。

完全なお方、聖なる神の前に立つ日が来ます。その時、完全な愛を持つ者でなければ、決して神に赦され、愛されることはできません。ですから、私たちの誰ひとりとして、律法を守ることによって神の祝福を受けることができるような者などいないのです。完全なお方の前で、私たちはあまりにも不完全で、神に裁かれ、滅ぼされる他ないからです。しかし主イエスは、「わたしは」「成就するためにきた」と宣言して下さいました。私たちが神の前で完全になることが求められているのではなく、主イエスが律法を完全に成就して下さることによって、私たちが赦され、愛されるのだ、と言われたのです。

神のひとり子、主イエス・キリストがこの世に来て下さいました。神は、私たちの全生涯をご存知で、私たちの心の思い、語った言葉、手の業を知り尽くしておられます。この完全で聖なる神の前に私たちを立たせ、祝福を得させるために、主イエスは来て下さいました。私たちに代わって罪の報酬である死と滅びとを引き受け、私たちに代わって神に捨てられる絶望の叫びを口に、律法を完全に成就されたのです。

十字架に架けられる前夜、主イエスはパンを裂き、杯を祝福して弟子たちにお与えになりました。主イエスが私たちの代わりに裁かれ、血を流し、それによって私たちの罪が赦され、神の祝福を得るようになりました。私たち自身が律法を完全に守ることによってではなく、ただ、主イエスの義を身にまとうことによって、私たちは神の前に進み出ることが許されています。

やがて弟子たちに主イエスの霊、聖霊が注がれたように、信仰を与えられ、洗礼を受けて聖霊を注がれた者は、誰でも弟子たちのように、天地が滅びる時を心待ちにしながら、主イエスの救いの約束を宣べ伝えながら歩み出すようになります。神の救いの約束が主イエスによって成就したのです。

(記 岡村 恒)